教材研究ノート№3-D-1

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・棒グラフのかき方，資料（表）の読み取り，数直線の読み方，数の大小，単位の表し方，定規を使った直線の引き方を理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・表を棒グラフに表せば比べやすいことを学習している。

○共同追究でのゆさぶり

・棒グラフに表して考察する経験は初めて。

○ゆさぶりに対応する経験

・棒グラフに表すよさは学習している。

≪学習問題≫

学校の友達の好きなもの調べの結果を，全校に紹介しよう。

≪学習問題≫

主眼



授業計画･実施記録

②見通し:棒グラフに表せば見やすい。どのようにかけばいいのか。→描き方の約束に従ってグラフにすればよい。

②学習課題:棒グラフのかき方の約束を使って，調べた結果を棒グラフに表して，気がつくことをまとめてみよう。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究:かき方の約束を参考にしながら3枚のグラフを選んでグラフを作り，気がつくことをまとめる。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「全部のグラフを見て共通していることはないかな？」

→「人数の多い少ないが一目で分かる。」

「横はみんな人数で，縦はみんな言葉が入っている。」

「その他を除けば，人数の多い順に並んでいる。」

④共同追究後半（思考を深める）

「人数の一目盛りは何人になっていのだろう？」→「１人。」

「どうして1人にしたのかな？」

→「一番人数が多いのが○人だから，マス目の数に合っているから。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・棒グラフに表すと，何が好きなのかがよく分かる。

・一番多い人数が分かれば一マスの目盛りの数が分かる。

・棒グラフはとても便利だ。

すきなくだもの

いちご

０

20

40

60

80

10

12

(人)

りんご

みかん

その他

バナナ

⑥定着･活用問題

ある学校で「すきなくだもの

調べ」をした棒グラフです。

(1) ３番目にすきな人が多い

くだものは何ですか。

(2) その人数は何人ですか。

≪定着・活用問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・グラフをかくことが目的となり，かき方の指導に終始してしまわないようにするために，予めデータをグラフにまとめる必要感を持たせておきたい。校内に掲示してある児童会活動で作られたグラフについて，目的や効果を観点に話し合う等が考えられる。

・1目盛を適切にとることを意識させるために，1目盛が大きすぎたり小さすぎたりするグラフを提示し，比較させるとよい。

【板書計画】